***国際社会福祉協力員募集！***

　特定非営利活動法人Community Lifeでは、JICAより草の根支援事業の委託を受け、下記プロジェクトの国際社会福祉協力員を募集しております。

＜プロジェクト名＞

　　　「障がい児（者）のエンパワーメント獲得のための支援技術者育成プログラム」

　＜実施場所＞

　　　　フィリピンリザール州ロドリゲス市（マニラ中心部から約１～２時間ほど）

＜活動内容＞

　　　　平成28年１月開始予定。ロドリゲス市のCBR活動の強化を図ります。CBRとは、Community-Based Rehabilitationの略で、大きな施設を建てて障がい児（者）の療育支援を行うのではなく、地域で支援していこうとする考え方で、発展途上国の障がい児（者）支援によく活用されています。

　　　　現在は、子どものリハビリを地域で支援していくために現地NGO　HAMISが活動しています。HAMISと一緒に活動しながらリハビリを強化して、その上に成人対象とした就労支援を展開していく予定です。

　■人材募集について

　　　　現地で活動してくれるソーシャルワーカーその他専門家を募集しています。

（社会福祉士等の資格を希望しますが、なくても実務経験があれば大丈夫です）。

業務的はCBR活動の子どもや家族へのケア・フィールドワークです。現地NGOや行政との関わりがあり、色々な人・団体との出会いがあります。

派遣時期は来年度（28年度）の4月以降（現在JICAスタッフと検討中で、また本人との都合による相談にも出来る限り対応します）。派遣期間は3年のプロジェクト中、3～４回に分けて計12～16か月の活動を考えています。待遇としては、航空券等の旅費にかかる経費（海外保険含む）、現地の生活費及び活動費となります。

　■希望その他

　　　①派遣は3～5か月の複数回になりますが、希望としては一人に3年間携わっていただきたいのですが、難しいようでしたら別の方と交替でも結構です（1回の派遣でも検討してみます）。

　　　②現地は英語です。英語ができないと躊躇される方は多いです。通訳を雇うこともできますが、直接のコミュニケーションは大事ですし、これは英語が出来る出来ないのことではないので、慣れるまでは何とか乗り切れます。

　　　③慣れない場所での活動となり不安な点も多いと思います。気持ちよく働いて、現地でたくさんの思い出・経験ができるようなバックアップに最大限努力します。

*事業主の皆様へ*

職員さんの派遣にご協力ください。

　海外での事業に関心を持ってくれる現場の職員さんは多いです。しかし現在の仕事を抜けられない、戻った時の生活が心配だという意見で大半の方は躊躇し、辞退していきます。派遣後の職場復帰にご配慮いただける事業所も探しております。

　現在は、多くの事業所さんが人材不足で、大事な職員がいなくなることは事業所にとって大きな痛手となることは重々承知しております。一方では、今回のような海外事業に参加する機会も少ないことも事実です。これを機会に、海外との繋がりを事業所自体の付加価値・魅力としてとらえ、今後のリクルート活動や職員さん達の成長などに活用していただけたらと思います。

　当法人が運営する「フレンドリー」では、これまで国際的な活動を少しずつしてきましたが、職員は新鮮なようで、働く中でも日常とは違った経験ができていると思います。少ないですが学生さんも定期的にお手伝いに来てくれるようになりました。

　3年後にプロジェクトは終了予定ですが、その後現地との関わりはそれぞれの事業所で継続していくことは自由です。

　ご一考の程、よろしくお願いします。

　　　（連絡先）

　　　　　一緒に頑張って日本(愛媛県)の福祉の良さを発展途上国に移転していきましょう。興味のある方はご連絡ください。

　　　　　　　　特定非営利活動法人Community Life　フレンドリー　代表　松本　光司

　　　　　　　　 Tel : 089-906-1207　　　Email: [communitylife@pikara.ne.jp](mailto:communitylife@pikara.ne.jp)